

昭和62年 9月

殿

## 建築床特殊性能研究会

### 設立趣意書

建築をとりまく社会環境の激しい変化と共にこれまでと異なった機能・性能が建物に求められる様になって来ました。例えば建築と静電気、電磁波、マイクロダスト、微小振動、ライフサイクルコストなど新たな視点から建築が見直されております。

建築の中で果たす役割の大きさからして床もその例外ではありません。元来、床は多様な性能を求められていますが、今日更に新しい機能・性能を持つことが期待されています。しかし、これらの期待にはまだ充分応えることができていないのが現状かと思われま

す。私達はこのような状況に積極的に取り組み、現代が床に求めている機能・性能について勉強会を過去2年半続けてまいりましたが、今回、これまでの成果をもとに正式の研究会を発足させることに致しました。本会の主旨は建物の床がどうあるべきかを工学的立場から明らかにし、現在から未来にかけてより良い床を実現することにあります。活動の内容は床材料の構法・工法の調査・研究に留まらず、新しい性能評価方法の開発やその広報・普及活動など広範囲とする所存です。

このような研究会の主旨に御賛同頂き、御参加をお願いする次第です。

発起人代表 小野 英哲

建築床特殊性能研究会 設立発起人名簿

小野英哲	東京工業大学建築学科
太田皓士	(株)エーピーシー商会化成成品事業部
海津 洋	タジマ(株)開発部
柏原奉一	住友ゴム工業(株)特品事業部
唐川安弘	油化シェルエポキシ(株)
長部欽一	日立電線(株)ゴム事業部
鈴木 肇	ミドリ電子(株)
藤原昌則	東洋リノリウム(株)営業技術部
田島泰幸	労働省産業安全研究所
土田恭義	フジタ工業(株)技術研究所
永橋 進	戸田建設(株)技術研究所
中山 寛	鹿島建設 技術研究所
林 好正	(株)大林組 技術研究所
平山善男	ベトロケミカルス(株)鳥飼事業所
松本洋一	清水建設(株)技術研究所
山宮輝夫	大成建設(株)技術研究所
吉川一三	(株)竹中工務店 技術研究所
渡辺博司	(株)竹中工務店 技術研究所

## 建築床特殊性能研究会の概要

- I 目的 建物の床に関する学術・技術を探究し  
より良い床材及び床の実現を促すこと  
によって社会に貢献する。
- II 事業 (1) 建築床特殊性能研究会の開催  
(2) 調査及び研究  
(3) 技術資料及び図書の刊行  
(4) 講演会・講習会の開催  
(5) その他必要と認める事項
- III 役員 会長 1名  
幹事 若干名  
会計監査 2名
- IV 事務局 事務局は東京工業大学工学部 建築学科  
小野研究室内におく。
- V 会員と会費 個人会員 1万円(年会費)  
法人会員 5万円(〃)  
なお、分納を可とする
- VI 会計年度 4月1日～翌年3月末  
ただし、昭和62年の会計年度は10月1日より  
始まるものとし、年会費は個人会員、法人会員共  
に半額とする。

## Ⅶ 沿革

本研究会の前身は昭和59年11月に第一回が開催された帯電防止床研究会です。この研究会は「帯電防止を目的とする床材料を対象とし、1)帯電防止性能試験方法の統一と基準の作成、2)維持管理方法の設定」を主旨に、学識経験者、床材メーカー及び建築会社の関係者が集まってできたものです。それ以降、各メンバーの自発的な参加に支えられ、この研究会は帯電防止に関する勉強会的な段階を過ぎ、より妥当な床の帯電防止性試験の開発まで進展して参りました。

昭和59年11月 帯電防止床研究会発足

会員 13名

この間研究会を14回開催

会員16名となる

昭和61年 4月 床の帯電防止性能試験方法の  
開発に着手

10月 雑誌建築技術に「床の帯電  
防止を考える」を掲載

昭和62年 3月 床の帯電防止性能試験機試作と  
その評価に着手